

あいちのインターネット利用状況について

総務省は、2022年5月27日に、2021年8月末の世帯及び企業における情報通信サービスの利用状況等について調査した通信利用動向調査を公表しました。

この調査は、利用者の視点における情報通信の利用動向や、企業における情報通信ネットワークの構築状況及び情報通信サービスの利用動向の把握を目的に実施され、その調査結果は、情報通信行政の施策の策定及び評価のための基礎資料としても役立てられています。

ここでは、この調査結果から、愛知県におけるインターネットの利用状況、家庭内インターネット環境などについてみてみたいと思います。

1 インターネットの利用者の割合（個人）

2021年のインターネット利用の有無の割合を都道府県別にみると、利用有で最も割合が高いのは、神奈川県で91.1%で、次いで、東京都、滋賀県、京都府、大阪府の順となっており、愛知県は上位から7番目の順位となっています。次に、利用無で最も割合が高いのは長崎県の28.6%で、次いで青森県、岩手県、福島県、高知県の順となっています。（図表1）

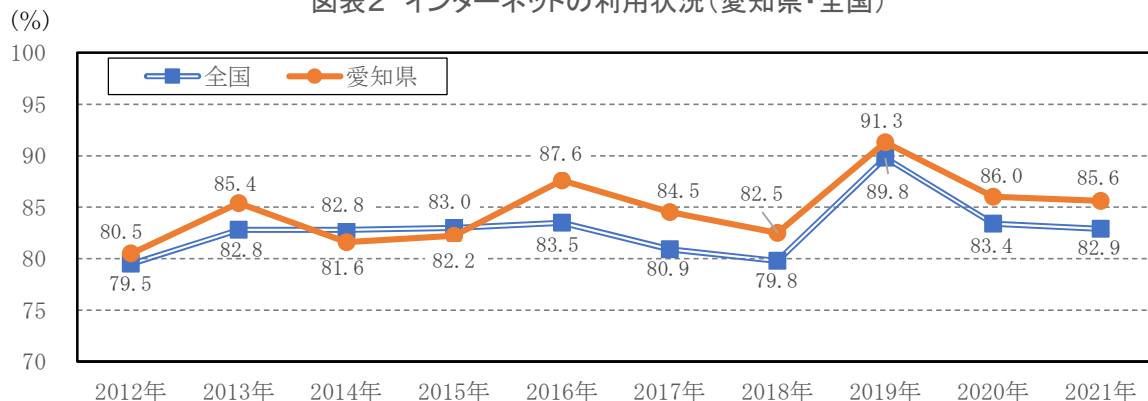
図表1 インターネット利用状況(2021年 都道府県別)

インターネット利用有			インターネット利用無		
順位	都道府県名	割合(%)	順位	都道府県名	割合(%)
1	神奈川県	91.1	1	長崎県	28.6
2	東京都	87.0	2	青森県	28.4
3	滋賀県	86.7	3	岩手県	27.5
4	京都府	86.1	4	福島県	26.5
5	大阪府	85.8	5	高知県	25.6
7	愛知県	85.6			

注：無回答の者を除く。
資料：総務省「通信利用動向調査」

2012年以降にインターネットを利用した者の割合の推移をみると、愛知県は2019年にピークとなり、91.3%で9割を超え、その後減少しているものの、全国と比較しても高い利用水準で推移しています。（図表2）

図表2 インターネットの利用状況(愛知県・全国)

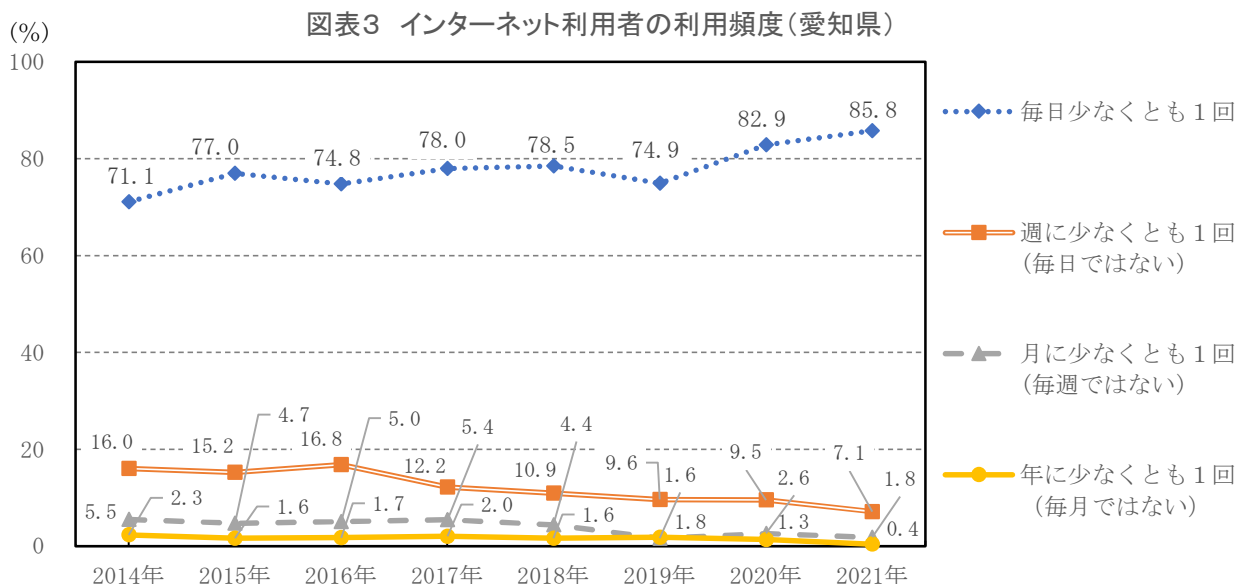


注：対象は過去1年間にインターネットを利用した者。
資料：総務省「通信利用動向調査」

2 インターネットの利用頻度（個人）

2021年の愛知県のインターネット利用者の利用頻度をみると、「毎日少なくとも1回」が85.8%と最も多く、次いで「週に少なくとも1回」（7.1%）、「月に少なくとも1回」（1.8%）、「年に少なくとも1回」（0.4%）の順となっています。

2014年以降の推移をみてみると、「毎日少なくとも1回」は70%から90%の間で推移する一方で、それ以外の利用頻度は20%以下で推移しており、毎日利用する人とそれ以外の利用頻度の人との間で2極化の傾向がみられます。（図表3）

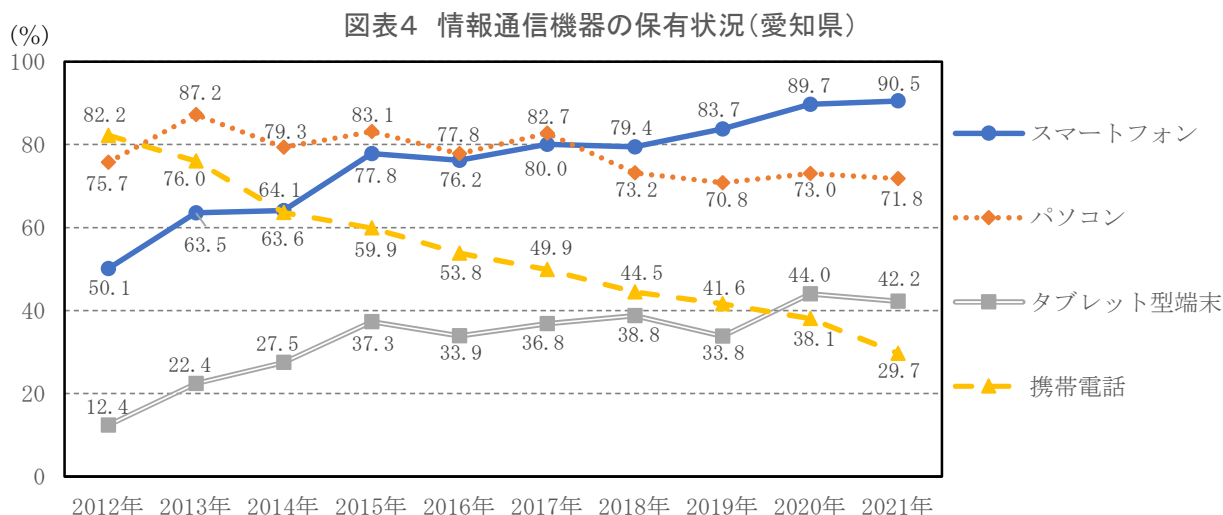


注1：対象は過去1年間にインターネットを利用した者。
注2：この調査項目は、2014年から実施。
資料：総務省「通信利用動向調査」

3 情報通信機器の保有状況（世帯）

2012年以降の愛知県の情報通信機器の保有状況の推移をみてみると、「スマートフォン」を保有する割合は2012年の50.1%から40.4ポイント上昇して2021年は90.5%となっています。また、「タブレット端末」を保有する割合は2012年の12.4%から29.8ポイント上昇して2021年は42.2%となっています。

一方、「パソコン」を保有する割合は2013年の87.2%をピークにその後減少傾向にあり、2021年はピーク時よりも15.4ポイント低下して71.8%となり、「携帯電話」を保有する割合は2012年の82.2%から2021年には29.7%となり、52.5ポイントも低下する結果となっています。（図表4）



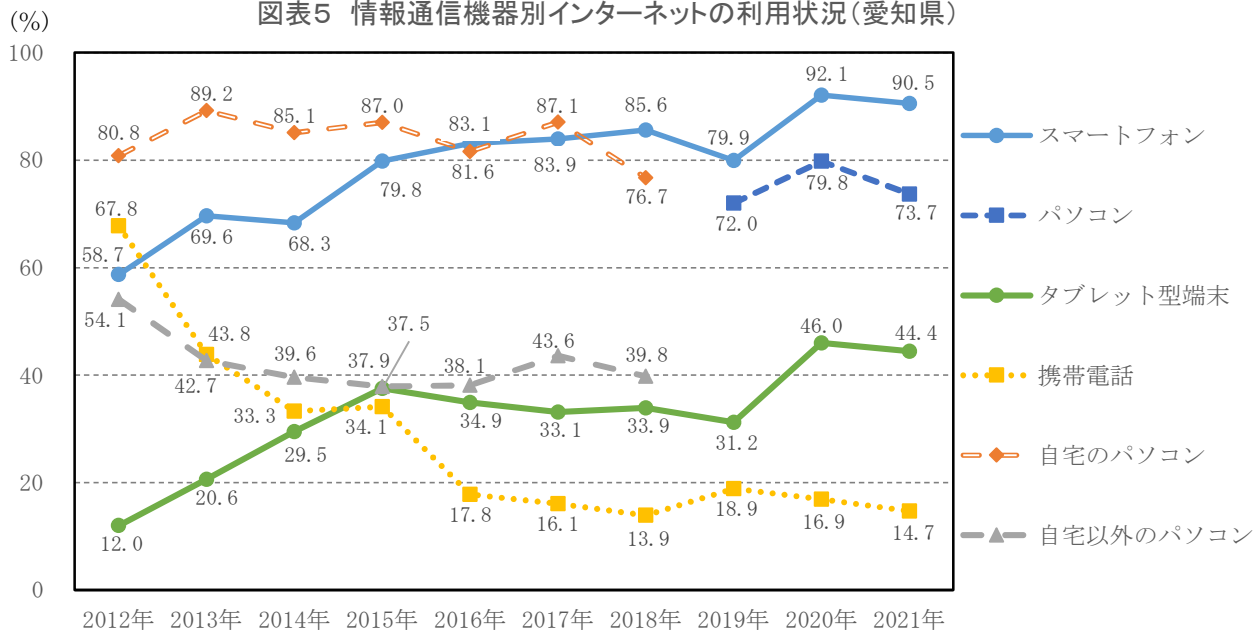
注：対象は全世界。
資料：総務省「通信利用動向調査」

4 情報通信機器別インターネット利用状況（世帯）

2021年の愛知県のインターネット利用状況を情報通信機器別にみると、「スマートフォン」でインターネットを利用する割合が最も高く、次いで「パソコン」、「タブレット型端末」、「携帯電話」の順となっています。

2012年以降の推移をみてみると、「スマートフォン」の利用割合は2012年の58.7%から31.8ポイント上昇して2021年は90.5%と大きく増加しています。一方、「携帯電話」の利用割合は2012年の67.8%から53.1ポイント低下して2021年は14.7%と大幅な減少となっています。（図表5）

図表5 情報通信機器別インターネットの利用状況（愛知県）



注1:対象は過去1年間に少なくとも1人はインターネットを利用したことのある世帯。
 注2:パソコンについて、2012年～2018年は「自宅のパソコン」と「自宅以外のパソコン」の2区分で計上。
 資料:総務省「通信利用動向調査」

2021年の情報通信機器別のインターネット利用状況を都道府県別にみると、「パソコン」でインターネットを利用した者の割合が最も高いのは京都府で、同様に「スマートフォン」は奈良県、「携帯電話」は沖縄県、「タブレット端末」は神奈川県となっています。（図表6）

図表6 情報通信機器別のインターネット利用状況(2021年 都道府県別)

パソコン			スマートフォン			携帯電話		タブレット端末			
順位	都道府県名	利用率(%)	順位	都道府県名	利用率(%)	順位	都道府県名	利用率(%)	順位	都道府県名	利用率(%)
1	京都府	83.5	1	奈良県	92.9	1	沖縄県	23.4	1	神奈川県	49.0
2	東京都	83.2	2	兵庫県	92.3	2	和歌山県	22.8	2	静岡県	46.9
3	大阪府	81.6	3	茨城県	92.1	3	福島県	22.7	2	福岡県	46.9
4	神奈川県	81.5	4	京都府	91.7	4	福岡県	22.0	4	東京都	46.4
5	富山県	79.1	5	新潟県	91.6	5	鳥取県	21.7	5	福井県	44.9
22	愛知県	73.7	16	愛知県	90.5	42	愛知県	14.7	6	愛知県	44.4

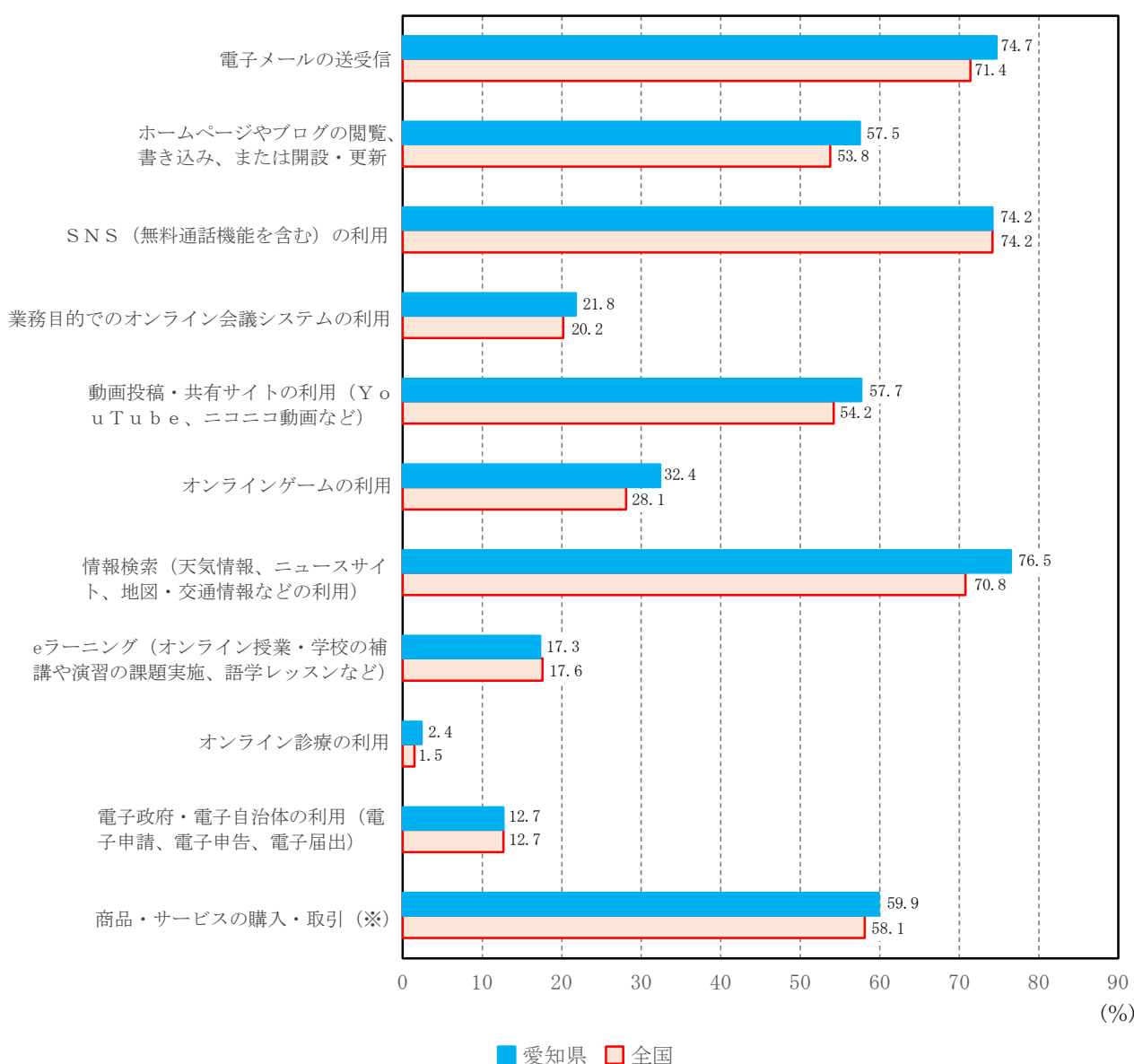
注 :対象は過去1年間に少なくとも1人はインターネットを利用したことのある世帯。
 資料:総務省「通信利用動向調査」

5 インターネットで利用した機能・サービスと目的・用途（個人）

2021年における愛知県と全国のインターネット利用者が利用した機能・サービスと目的・用途についてみると、愛知県は、「情報検索（天気情報、ニュースサイト、地図・交通情報などの利用）」の割合が76.5%と最も高く、次いで「電子メールの送受信」（74.7%）、「SNS（無料通話機能を含む）の利用」（74.2%）、「商品・サービスの購入・取引」（59.9%）、「動画投稿・共有サイトの利用（YouTube、ニコニコ動画など）」（57.7%）の順となっています。

全国は、「SNS（無料通話機能を含む）の利用」の割合が74.2%と最も高く、次いで「電子メールの送受信」（71.4%）、「情報検索（天気情報、ニュースサイト、地図・交通情報などの利用）」（70.8%）、「商品・サービスの購入・取引」（58.1%）、「動画投稿・共有サイトの利用（YouTube、ニコニコ動画など）」（54.2%）の順となっています。（図表7）

図表7 インターネットの利用目的（愛知県・全国）



注：対象は過去1年間にインターネットを利用した者。

※：金融取引、デジタルコンテンツの購入・取引、インターネットオークション・フリーマーケットアプリによる購入・取引を含む。

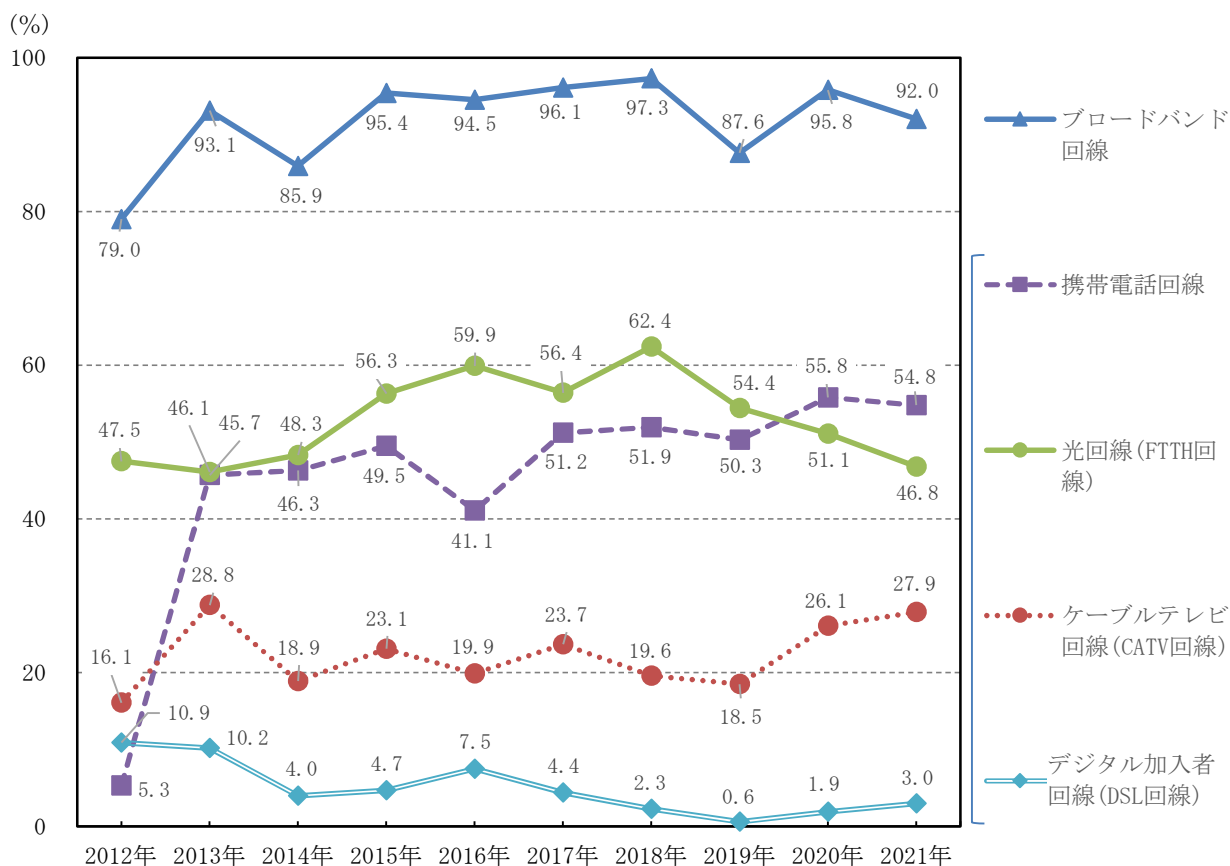
資料：総務省「通信利用動向調査」

6 自宅でインターネットを利用する世帯の接続回線（世帯）

2021年の愛知県のインターネット接続回線をみると、「ブロードバンド回線」を導入している世帯の割合は、92.0%となっています。

ブロードバンド回線には、携帯電話回線、光回線（FTTH回線）、ケーブルテレビ回線（CATV回線）、デジタル加入者回線（DSL回線）などがありますが、2021年の愛知県では、「携帯電話回線」を導入している世帯は54.8%、「光回線」は46.8%、「ケーブルテレビ回線」は27.9%、「デジタル加入者回線」は3.0%となっています。（図表8）

図表8 自宅でのインターネット接続回線（愛知県）



注：対象は過去1年間に少なくとも1人はインターネットを利用したことのある世帯。
資料：総務省「通信利用動向調査」

おわりに

愛知県では、近年、自宅で高速・大容量のデータ通信が行える携帯電話回線を使い、手軽に持ち運びできるモバイル端末（スマートフォン）によるインターネットの利用が最も多くなっています。

インターネットでは、情報検索、電子メール、SNS、商品の購入・取引、動画サイトなど多様なサービスが利用されており、愛知県におけるインターネットの利用状況は、全国平均よりも高い水準で推移しています。